



平成 26 年 11 月 21 日

各 位

会社名 株 式 会 社 メ デ ィ ネ ッ ト
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗
(T E L 0 4 5 - 4 7 8 - 0 0 4 1)

国立大学法人九州大学の共同研究部門において 難治性悪性腫瘍に対する免疫細胞療法に関する臨床試験を開始

株式会社メディネットは、国立大学法人九州大学の共同研究部門制度を活用して、九州大学先端医療イノベーションセンターに「先進細胞治療学研究部門」を設置し、共同研究を推進しておりますが、この度、同共同研究部門において、難治性悪性腫瘍に対する免疫細胞療法(CA-MED-NK001 療法)に係る臨床試験(研究責任者:赤司 浩一 九州大学先端医療イノベーションセンター 副センター長)を開始することになりました。

本臨床試験は、当社が開発した NK 細胞などの培養技術を用いて、難治性悪性腫瘍に対する免疫細胞療法(CA-MED-NK001 療法)に係る安全性の確認と用量漸増(どの程度の数の目標細胞が安全に投与できるのか)の評価を主目的とし、抗腫瘍効果の評価を副次的に行います。

今後、共同研究部門では、本臨床試験で得られたエビデンスやプロトコールを活用し、平成 26 年 11 月 25 日に施行される予定の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の下、先進医療の承認取得や再生医療等製品の一つである細胞医療製品としての承認獲得に発展させることを目指します。

メディネットは、九州大学先端医療イノベーションセンターの「先進細胞治療学研究部門」との共同研究で得た成果などを通じて、より高い治療効果が得られる細胞医療製品を開発し、最新で最善で最良の治療を患者様に届けることに貢献してまいります。

なお、本件に関しては、国立大学法人九州大学においてもリリースが開示されております。「ナチュラルキラー細胞を主成分とする新しい細胞製剤による、難治性悪性腫瘍に対する免疫細胞療法の安全性に関する臨床試験の開始」 <http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2014/2014.11.21.pdf>

【今後の影響】

本件の業績(2015年9月期)に与える影響は軽微であります。今後、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

i 2012 年 5 月 15 日リリース <http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=977523>
「九州大学にがん免疫細胞治療分野での「共同研究部門」を新設」